

令和3年度 第1回奈良市スポーツ推進審議会会議録			
開催日時	令和3年12月2日(木) 午前11時～11時40分		
開催場所	リモート会議		
出席者	委員	高橋会長、天野副会長、笠次委員、野阪委員、成瀬委員、星野委員【6人出席(全員)】	
	事務局	中川市民部長、大井市民部次長、池田課長、脇田課長補佐、森田課長補佐 小嶋総務係長、阪口スポーツ振興係長、天野、岡本、西村	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	市民部 スポーツ振興課
議題 又は 案件	1 奈良市スポーツ推進計画について 2 施設の改修について 3 その他		
決定又は 取り纏め 事項	1 奈良市スポーツ推進計画 現計画の延長について		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
<p>1 「奈良市スポーツ推進計画について」</p> <p>事務局より、平成25年度に10年間を計画期間として策定した本市のスポーツ推進計画について、令和4年度に終了予定、令和5年度から新たな計画を策定する必要があるが、コロナ禍における、3つの課題について説明。</p> <p>① 新型コロナ感染症対策の緊急事態宣言等により、スポーツ施設の休館や施設の利用制限、不用、不急の外出の自粛やスポーツ活動の制限、主催事業等の中止や延期の影響について。</p> <p>② 国、県の計画等との整合性を図る必要性について、国の計画は2022年度(令和4年度)予定、奈良県は2023年(令和5年度)予定。</p> <p>③ コロナ禍において市民生活や社会状況がある程度平常化したのちに国及び県の計画を基に奈良市スポーツ推進計画の策定を進める必要があるのではないか。</p> <p><b>【質問事項】</b></p> <p>(成瀬委員) 体育施設年間利用者集計表の読み方について</p> <p>(事務局) 令和2年度は4月11日～5月31日まで、奈良市内のすべての体育施設を閉鎖し、5月の数字はコミュニティ会館を除いてすべて0である。それ以降も、コロナの影響で大会が中止、一般の利用者においても、感染を恐れて利用を中止するなど、月平均の使用者数が減少し、結果として前年比56%。バンビシャス・奈良クラブ等の試合も無観客になり、ス</p>			

スポーツに親しむ人、する人、観る人など、“する みる ささえる”のすべてのカテゴリーで減少したと思われる。

(高橋会長) 奈良県の計画についてはどのようになっているか。

(事務局) 県の審議会委員でもある星野委員にご意見伺いたい。

(星野委員) 県は10年後の国体に向けての計画を今立てています。直近の会議では、スポーツを用いた奈良県の活性化、スポーツの持続的な振興をめざして、どのようなアプローチがあるのかを考えて、10年計画を立てている。

県では、国体に向けてこの10年をどうしていくかという計画を、学識経験者など大人数で長時間会議を行っている。コロナの状況下でどうすすめていくのか、今どんな状況であるかという報告もあるが、やはり国体に向けて、県全体でもりあがろう、活性化していこうとしているので、市もそれに便乗していけばいいのではないのでしょうか。

### 【今後について】

事務局より説明。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツ施設の休館や施設利用制限、不用、不急の外出自粛、スポーツ活動の制限、主催事業等の中止や延長の影響があったこと。
- ② 令和4年度に発表される予定の国の基本計画、令和5年度に発表される予定の奈良県の推進計画を基に、上位機関との整合性を図ることが重要であること。
- ③ 前は2ヵ年で計画していたが、今回は準備期間が1年であること。
- ④ 本来であれば、スポーツ実施率や施設についての前回との比較調査を行ないたいが調査出来ておらず、また、前期はオリンピック事前キャンプに重点を置いていたため、本計画の進捗検証も出来ていないこと。
- ⑤ コロナ禍の為、オリパラやワールドマスターズゲームズ等の世界規模の大会が延期されたのをはじめ、国体やインターハイの中止、市民のスポーツ活動も制限されたり、オンラインでの交流が増えたりするなど、この1年半で、スポーツを「する」「観る」「支える」ことの全ての考え方が変わってきていること。

これらの理由を踏まえ、令和5年度より開始予定ではあるが、現計画を1年延長し、令和6年度から第2期をスタート出来るよう、令和4年度～5年度で準備をしていきたいと考えている。

事務局の提案どおりに進めていくことについて、了承を得た。

アンケートの取り方であるとか、市の財政状況も含めて10年前とは状況が変わっているの、委員の先生方にもご相談・ご協力をいただきたい。

### 2 「施設の改修について」

事務局より、鴻ノ池陸上競技場の公認更新、及び工事について説明。

令和4年12月から令和5年8月末までの予定で鴻ノ池陸上競技場の主競技場を、日本陸上競技連盟の第1種公認陸上競技場として、また、補助競技場を第3種公認陸上競技場としての公認更新整備工事を来年度の予算要求を予定。

今回の公認更新整備は、2019年の競技規則の改正によるレーン幅及び助走路幅を現行の125 cmから122 cmへと全面改修を行うとともに、前回の公認更新条件であった補助競技場のインフィールドの芝生化を行う工事となる。

工法については、トラック走路の大部分は、「切削オーバーレイ工法」を採用予定。ウレタン舗装補修後は、複雑な陸上トラックの各種ライン・マーキングを塗布し、日本陸上競技連盟の適用される新ルール対応とする。

**【質問事項】**

(高橋会長) toto助成の検討についてはどのように考えているか。

(事務局) 現在、totoの申請期間になっており、できるだけ多くを助成してもらえりような申請をしたいと考えている。

5 「その他」

- ・「奈良マラソン2021」の開催、交通規制について
- ・次回は令和4年2月頃に開催予定。

資 料	【資料1】奈良市スポーツ推進計画について 【資料2】施設の改修について
-----	--